令和元年度

八代市議会議会運営委員会記録

審査・調査案件

1. 本日の議事日程について	1
1. 議会運営委員会の閉会中継続調査の申し出について	8
1. その他	8

令和元年12月20日（金曜日）

議会運営委員会会議録

副議長 成 松 由紀夫 君

令和元年12月20日 金曜日

午前9時01分開議

午前9時32分閉議（実時間31分）

○説明員等委員（議）員外出席者

総務企画部長 松 村 浩 君

議会事務局長 宮 田 径 君

議会事務局次長 増 田 智 郁 君

○本日の会議に付した案件

1. 本日の議事日程について

- (1) 委員長報告
- (2) 市長追加提出議案
- (3) 議員提出議案
- (4) 閉会中の継続審査・調査の申し出
- (5) その他

1. 議会運営委員会の閉会中継続調査の申し出について

- (1) 議会の運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項

1. その他

○本日の会議に出席した者

委員長 福 嶋 安 徳 君

副委員長 橋 本 幸 一 君

委員 大 倉 裕 一 君

委員 金 子 昌 平 君

委員 亀 田 英 雄 君

委員 田 方 芳 信 君

委員 中 村 和 美 君

委員 増 田 一 喜 君

委員 村 川 清 則 君

委員 山 本 幸 廣 君

議長 上 村 哲 三 君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

○記録担当書記

土 田 英 雄 君

（午前9時01分 開会）

○委員長（福嶋安徳君） ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。

◎本日の議事日程について

○委員長（福嶋安徳君） まず、1. 本日の議事日程についてを議題とし、（1）委員長報告の（イ）議案37件について説明を求めます。

○議会事務局長（宮田 径君） 皆さんおはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）議会事務局の宮田でございます。

それでは、1番の議案37件について説明いたします。恐れ入りますが座って説明いたします。

○委員長（福嶋安徳君） どうぞ。

○議会事務局長（宮田 径君） お手元の令和元年12月定例会議事日程（第6号）をごらんいただきたいと思っております。

まず、議長の諸報告の後、日程第1から日程第37までの市長提出案件37件についてのおの付託されておりました、4常任委員会、それと倫理に関する特別委員会、議会運営委員会から審査が終了した旨の報告がありましたので、この審査の経過並びに結果について、委員長報告がございます。

次に、採決について説明いたします。

議案第94号は単独で起立採決。

議案第95号から96号までの2件は一括で挙手採決。

議案第97号から98号までの2件は、一括で挙手採決。

議案第99号から101号までの3件は、一括で挙手採決。

議案第102号は単独で挙手採決。議案第103号は単独で挙手採決。

議案第104号から108号までの5件は、一括で挙手採決。

議案第109号は単独で挙手採決。

議案第110号から111号までの2件は、一括で挙手採決。

議案第112号は単独で挙手採決。

議案第113号は単独で起立採決。

議案第114号は単独で起立採決。

議案第115号は単独で起立採決。

議案第116号は単独で起立採決。

議案第117号から125号までの4件は、一括で挙手採決。

議案第121号は単独で起立採決。

議案第122号から125号までの4件は、一括で挙手採決。

議案第126号から128号までの3件は、一括で挙手採決。

議案第129号は単独で起立採決。

議案第130号は単独で挙手採決となります。

なお、お手元に委員会審査結果表を配付しておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（福嶋安徳君） ただいま説明が終わりましたが、何か質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） ないようです。

では次に、（2）市長追加提出、人事案件7件について説明を求めます。

○総務企画部長（松村 浩君） 皆様おはようございます。総務企画部松村でございます。着

座にて説明させていただきます。

○委員長（福嶋安徳君） どうぞ。

○総務企画部長（松村 浩君） 本日の追加提出議案としまして、人事議案7件を予定しております。封筒の中にあります議案書のその3をごらんいただければと思います。1枚めくっていただきまして、目次をごらんいただきたいと思っております。

議案第131号から137号までは、いずれも人権擁護委員候補者の推薦についてございまして、人権擁護委員のうち7名の方が令和2年3月31日に任期満了となりますことから、法務大臣に委員候補者を推薦することについて、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものです。

内訳は再任が4名、新任が3名で、いずれも来年の4月1日から3年間の任期でございます。

議案書の1ページをごらんください。議案第131号の小山一廣氏は、通町にお住いの70歳の男性の方で、高等学校教員の経歴をお持ちで、退職後、八代市通町の光圓寺の住職をお務めてございまして、長年にわたる住職としての実績と経験を、人権啓発・人権擁護活動に役立てておられます。また、平成5年に保護司に就任され、現在まで26年間、保護司として活躍をされています。人権擁護委員には平成29年に就任いただき、今回2期目の再任をお願いするものでございます。

2ページをお願いします。議案第132号の秋岡美樹夫氏は、宮地町にお住まいの64歳の男性の方で、平成27年の3月まで宮地郵便局長として勤務しておられました。この間24年間にわたり、さまざまな地域活動の中での経験を積み、宮地地区福祉推進協議会の委員として貢献してこられました。人権擁護委員には平成29年に就任いただき、今回2期目の再任をお願いするものでございます。

3ページをお願いします。議案第133号の寺田公子氏は、古閑中町にお住まいの64歳の女性で、長年PTA活動を通して子供の見守りに尽力され、現在、主任児童委員や、青少年指導員、熊本県少年指導員に就任いただいております。このような地域活動等を積極的に行う中で、地域住民の信頼を得ておられます。人権擁護委員としても現在4期目で、今回5期目の再任をお願いするものでございます。

4ページをお願いします。議案第134号の長廣嘉代子氏は、築添町にお住まいの62歳の女性で、社会福祉士、精神保健福祉士などの資格をお持ちの方でございます。人権課題のうち、特に女性問題や障害者問題に関心を持たれ、男女共同参画推進の活動や、障害者支援の活動、また、熊本被害者支援センターでボランティア活動に携わっておられます。人権擁護委員としては現在5期目で、今回6期目の再任をお願いするものでございます。

5ページをお願いします。議案第135号の豊田孝二氏は、千丁町にお住まいの62歳の男性で、昭和55年に千丁町役場に入庁され、平成30年に八代市千丁支所長を最後に退職されるまでの長年にわたる行政勤務の中で、社会教育や人権教育の業務を経験してこられました。人権課題では、子供や高齢者問題、障害者問題に関心を持たれ、それらの問題に関する啓発活動や、問題解決に取り組みたいとの意思をお持ちで、人権擁護委員の職にふさわしい見識をお持ちと考えますので、今回、新任としてお願いするものでございます。

6ページの、議案第136号の水本和博氏は、敷川内町にお住まいの62歳の男性で、昭和56年に八代市役所に入庁され、平成30年に八代市総務部長を最後に退職されるまで、行政勤務の実績と経験を積んでこられて、その中では4年にわたる人権政策課長としての経験もお持ちです。平成29年からは、保護司として

現在2期目、また平成30年からは少年補導員として御活躍中であり、人権擁護委員の職にふさわしい見識をお持ちの方と考えますので、今回新任としてお願いするものでございます。

7ページの、議案第137号の山下俊子氏は、川田町にお住まいの61歳の女性で、昭和56年4月から、熊本市、旧千丁町、旧東陽町などの小学校や、八代市内の小学校において教職を務められ、平成30年3月に定年退職されるまで、長年にわたる教職員経験の中で深められた人権に対する知識と経験をお持ちの方です。在職中は小学校の学級担任として人権問題学習を実践してこられ、現在も八千把小学校において特別支援教育に携わっておられ、人権擁護委員の職にふさわしい見識をお持ちと考えますので、今回新任としてお願いするものでございます。

以上が本日追加提案を予定しております7件の人事議案でございます。どうぞよろしく願いたいいたします。

○委員長（福嶋安徳君） ただいま説明が終わりましたが、何か質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） ないようです。

それでは、人事案件7件についての委員会付託について協議いたします。付託はいかがいたしましょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） 付託なしということでお諮りいたします。

人事案件7件については、委員会付託を省略することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

執行部は御退席ください。

次に、（3）議員提出発議案2件について説明を求めます。なお、今回提出されております

発議案は本委員会メンバー以外からの提出であり、会派等からの議員発議案については、発議者代表から説明することとされております。

本日、発議者代表である村川議員及び山本議員は本委員会に出席されておられますので、この際、本発議2件についてそれぞれ説明をお願いしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) 御異議なしと認めます。

それではまず、発議案第12号について、村川議員お願いいたします。

○委員(村川清則君) 着座にて失礼いたします。皆様おはようございます。(「おはようございます」と呼ぶ者あり)ただいま委員長のお許しをいただきましたので、発議案第12号、八代市政治倫理条例の一部を改正する条例案につきまして、発議者一同を代表しまして、趣旨説明をさせていただきますと思います。

現行の八代市政治倫理条例は、本市が合併する前の旧八代市の条例をそのまま引き継ぎ運用されており、今まで見直しを行わないまま令和を迎えることとなりました。しかし、新しい時代に合わせ、よりよい議会としていくためには本条例の見直しが必要であるとのことから、別紙発議案のとおり提案するものであります。

今回の改正は、より市民の皆様に関わりやすくするとともに、議員のなり手不足の解消や、議員みずからがより一層襟を正し、市民の付託と市政に対する市民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与するためには必要不可欠なものであると考えます。どうか、この趣旨に御賛同いただき、満場一致の御決定をいただきますようお願い申し上げます。趣旨弁明いたします。よろしくをお願いいたします。

○委員長(福嶋安徳君) 以上、説明をいただきましたが、何かありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) ないようです。

次に、発議案第13号について、山本議員、お願いいたします。

○委員(山本幸廣君) 13号については、前回の委員会で審議未了という形になりましたので、その審議未了の経緯等を総合的に会派に持ち帰り、会派で検討の結果、新しい発議案13号を提案したという状況でありますので、御理解いただきたいと思います。

詳細については、本会議で趣旨についての説明させていただきたいと思います。

○委員長(福嶋安徳君) 以上、説明いただきましたが、何かありませんか。

○委員(橋本幸一君) この日本一のやつしろ産トマトをはじめ、全ての農産物の消費拡大推進条例の案ということでございますが、私もこの前の経済企業委員会の様子を見ておりまして、あの分については、皆さんも趣旨については十分理解し、これからのいい条例をつくっていくということ経済企業委員会に付託され、これからずっと何回か審議されながら条例案づくりしていくものと思っておりましたが、もう1回考えさせんですぐに採決ということで議論が終わられたということ。

私たちは継続しながらつくり上げていくものと思っておりましたが、そこでどうしてもやつしろトマトだけに特化した条例ということで意見が合わなかったということで、それではまた継続を思っていた議員については代替案を持ってまた再度せんといかんというような、その中での審議未了だったと私は見ておりますが、なぜ1日後に今度は全ての農産物を入れられたのか。それじゃあ、継続に持って行って、それを入れながら審議してもよかったのではないかという今、思いがしておるわけですが、そこについてはどのようないきさつがあつてされたのか。

○委員（山本幸廣君） 今、橋本副委員長からの、委員会の内容等の中で御意見であります。詳細については小会をしたときにですね。ここではちょっと控えさせていただきたいと思いますが、9月の定例会のときに、大体特化したトマトだけの消費拡大の条例というのをですね、提案したんですけども、腹案としてはですね、総合的な農産物と、全ての農産物ということではもう既に考えておったんですけども、特化した理由というのは、生産農家や事業者の方々、いろんな方々にお聞きしながらですね、9月からずっと継続になってたものですから、いろんな方々の意見を聴取しながらですね。特に会派では、議会の報告会等でトマトの問題についてもいろいろと説明がなされ、一人一人の議員も、トマトについてですね、農家の方々に聞きながら、そういう状況の中で、最終的には何百人という方々と意見というのを交換したという、そういう状況もありましたので、どうしてもスピード感を持ってこれは進めないかなという気持ちでした。

今回の特化した、今、橋本副委員長が言われましたように、委員会から3日間でした。その3日間の中では大体既に先ほど言った9月の定例会で全ての農産物というのを、たたき台をつくって、成案をつくっておったんです。ですけども、それがですね、最終的にはトマトだけに特化したという発議をしたわけでありましてけども。

そういう状況で、委員会からの3日間というのはですね、経済企業から3日間というのは、たくさんの方々と私も接しました。そしてまた、会派でいろいろと接していただきました。そういう中で、どうしてもですね、今のトマトの価格——委員会ときのトマトの価格というのは、自民党、各委員の方々からも、あんまりそんなに下がってないという状況で、そのときにはそうなかったらしいです。これは実際、あ

る代表の方々に聞いて参りました。そうしたところ、2週間ぐらいから特にトマトの価格が大下落をして、今の状況ではなかなか厳しいというような状況をですね、言われたわけでありまして、なるだけスピード感を持ってやろうということで、今回提案したということなんです。

○委員（亀田英雄君） 橋本副委員長のお尋ねは唐突感を覚えるというような趣旨だったというふうに感じました。前回9月議会の中でいろんな話があったかと思えます。なぜ、トマトだけという意見を承ったと。その中でいろんな協議を重ねてですね、そのころから全ての農産物にという表現も加えたらどうかという協議を重ねとったと。3日ということだったんですが、3カ月ということで御理解いただく。その間にいろんな意見聴取を行いながら、今回の条例の提案に至ったということでございます。

○委員（橋本幸一君） それじゃですね、突然……。やつしろ農作物をということであの当時から出とったわけで、そこを前提として議論されて然るべきじゃなかったかなという。あの当時ぎりぎりまで譲れないということで、強行に採決ということ、そこはちょっと私は整合性に欠けとるかなと思いがしてならんとですよ。それじゃ何で……。そういう案があればですよ、そっちのほうにかじ切りされてもよかったんじゃないかなという。そこと今のはちょっと整合性に私は理解ができませんという。

○委員（山本幸廣君） 橋本副委員長がそこまで言われるならば、現実として裏の話もあったんですよ。だから、裏の話で言うといけませんけども、議長室ですね、議長室で、私と野崎、そしてまた成松副議長、4名で小会をして、それで話し合いをして、そういう状況でお互いに一緒に会派問わず、いい案をつくりましょうよということまでは——。（委員橋本幸一君「当然私たちもそういうものと思ったからです

ね」と呼ぶ) そういう気持ちを持ってですね、話を進めました。はっきり言ってからですね。ところが、どうしても特化したというのは、今のトマト状況っていうのは、日本一の生産高であるし、生産量であるし、販売価格も大きいということですね、理由としてはそれが特化なんです。豊表もやっぱり日本一であるし、ばんぺいゆも日本一であるし、さらにはこの前、成松副議長が言われたように、たばこもですと言われるように日本一という。

その中で、日本一はいろいろあるけれども、トマトだけは販売高が高いからという状況でもですね、勘案してトマトというのに特化したわけでありませうけども。そのときにはですね、じゃあこの発議を賛成をして、それでみんなで成松副議長とですね、みんなで、全体で議会へ発議をしましょうかということまでは議論したんです。(委員橋本幸一君「当然私たちはそう思ったからですね」と呼ぶ) あそこへおられたですね、わかっついでしょう。(委員橋本幸一君「おらんだったです」と呼ぶ) おられなかったですね。そこらあたりを、橋本副委員長とニュアンスがちょっと違うわけですけども、そういう話し合いをしました。そういう結果なんです。(副議長成松由紀夫君「委員長。委員外ですがよろしいですか」と呼ぶ)

○委員長(福嶋安徳君) しばらくお待ちください。成松副議長からの提案であります、いかがでしょうか。

○委員(山本幸廣君) いいんじゃないですか。

○副議長(成松由紀夫君) 皆さん、おはようございます。(「おはようございます」と呼ぶ者あり) ただいま山本議員から裏の話でしたので、裏ではなくて表の話でございます。

この間の話というのは、今るるお話があつていとおりでありますが、我々はあくまで正副議長の立場で、普遍中立の立場でですね、自民

党派の橋本団長からのヒアリングといいますか、同じように話を聞いた上で、その上で山本代表と野崎議員に来ていただいて、自民党派の皆さんが申しておられるのは、継続でいただければ、超党派ですね、これは与野党を超えて一緒になって農産物消費拡大、どの範囲で行くかということ協議しながら、よりよいものをつくろうというような御提案が、橋本団長からお話がありましたので、自民党さんはこういうお気持ちですが継続でいかがでしょうかというお話ですよということを、調整に入ったということでありまして。

その中で、山本代表と野崎議員が、トマト一本であると、採決に行くんだということでしたので、それでは、もしそういうことになれば、自民党派さんは否決してリセットして、そして最初からやらなきゃいけないというような状況でありますよ、それならそれでしょうがないだろうというようなことでしたので。

それと野崎議員から1点要望ということで、20日までに自民党の対案を出せないものかというようなお話もありましたので、それはまた自民党さんにお話をしますということで橋本代表に確認したところ、字句の整理等々、それと時間を、もうちょっと執行部との協議であるとか、それとパブリックコメント、一定の手順を踏まなきゃならないので20日までにはそれはなかなか無理だろうというようなお話でしたので、そのまま野崎議員にお伝えしまして、その後委員会が再開されて、否決ということではなくて審議未了というようなことだったかというふうに覚えておりますので。

決して、裏とか、その裏とかいう話し合いではなくて、正副議長として調整を図ったという次第が事のてんまつでございます。よろしくお願ひします。(委員山本幸廣君「そのとおりです。議事進行してください」と呼ぶ)

○委員長(福嶋安徳君) それぞれ質疑があり

ましたけれども、ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) なければ、ただいま説明がございました発議案2件についての委員会付託について協議いたします。

まず、発議案第12号について、いかがいたしましょうか。委員会付託はいかがいたしましょうか。12号はよろしいですか。

○委員(中村和美君) 12号は、私は委員会発議ではなくて、全体のでいいんじゃないかと思えます。

○委員長(福嶋安徳君) 付託は要りませんか。

○委員(中村和美君) と私は思えます。

○委員長(福嶋安徳君) 皆さんそれでよろしゅうございますか。

お諮りいたします。発議案第12号については、委員会付託を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) 御異議なしと認め、そのように決しました。

次に、発議案第13号について、いかがいたしましょうか。

○委員(亀田英雄君) 委員会付託でお願いします。

○委員長(福嶋安徳君) 委員会付託をとということでございます。それでほかにありませんか。

ほかにないようでありますならば、発議案第13号については、所管の経済企業委員会に付託することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) 御異議なしと認め、そのように決しました。なお、本日が最終日となりますことから、本発議案についてはこの後の本会議途中に休憩をとり、当該委員会で審査することとなりますので、御承知おきお願いし

ます。

次に、(4)閉会中の継続審査・調査の申し出について報告を求めます。

○議会事務局長(宮田 径君) それでは御説明いたします。閉会中の継続審査・調査の申し出につきましては、別紙の閉会中継続審査・調査の申し出の案件をごらんいただきたいと思います。

建設環境委員会では、陳情1件、所管事務調査2件。経済企業委員会では、所管事務調査2件。文教福祉委員会では、所管事務調査2件。総務委員会では、所管事務調査2件。なお、議会運営委員会におきましては、この後に御決定いただくことを予定いたしまして、ごらんの3件を記載しております。これらを合計しまして合計12件となります。

説明は以上です。

○委員長(福嶋安徳君) ただいま報告が終わりましたが、何か質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) ないようです。

次に、(5)その他についての(イ)倫理に関する諸問題調査1件について説明を求めます。

○議会事務局長(宮田 径君) それでは(イ)倫理に関する諸問題の調査について御説明いたします。

倫理に関する特別委員会に付託されておりました、倫理に関する諸問題の調査について、その調査が終了した旨、12月16日に委員長から議長へ報告書が提出されました。本日、本会議にて委員長からその報告がございました。

以上です。

○委員長(福嶋安徳君) ただいま報告が終わりましたが、何か質疑ありませんか。

○委員(大倉裕一君) 倫理に関する諸問題の調査で特別委員会が立ち上がったということで、この前の最終の委員会の終わりに、これ

で委員会を解散ですかという確認をさせていた
だきましたら、そのように認識しておりますと
いうことを回答いただいたというふうに思っ
てます。ということは、条例とかそういった内容
でこの委員会の廃止という手続が必要になっ
てくるかと思うんですけど、それは次の3月定例
会なんでしょうか。

○**議会事務局次長（増田智郁君）** おはようご
ざいます。（「おはようございます」と呼ぶ者
あり）先ほどの大倉委員さんからの御質問で
ございます。特別委員会が設置されてその終了と
いいますが、本会議で最終報告がございま
す。それをもって一応終了というような形にな
ります。費用弁償等につきましては設置されて
からということで設置をしてありますので、そ
の部分でいつまでっていうのはですね、これま
でも改正等は行っておりませんので、報告を
したらそこで終了と。要は本会議から付託され
ていた議案を調査する期間までが特別委員会の
役割という形になりますので、それが終了しま
したというのを本会議で報告して、そちらで終
了という流れになるかと思えます。

以上です。

○**委員（村川清則君）** ちなみに費用弁償は、
これは受け取らないということでもいいんでは
うか。

○**議会事務局次長（増田智郁君）** 先ほど費用
弁償の話が出ましたが、費用弁償は確かに受け
取らないということで、費用弁償に関してお話
をさせていただきましたのが、特別委員会出席
に伴う費用弁償の支出について受け取らないと
いう規定を変えさせていただいたというところ
で、ちょっとお話をさせていただいたところで
ございます。実際、こちらの特別委員会の費用
弁償のほうは、費用弁償条例に基づいて支給は
されていなかったということでございます。

以上でございます。

○**委員長（福嶋安徳君）** ほかにありません

か。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○**委員長（福嶋安徳君）** ないようです。

◎議会運営委員会の閉会中継続調査の申し出に ついて

○**委員長（福嶋安徳君）** 次に、2. 本委員会
の閉会中の継続調査の申し出についてお諮りい
たします。

本委員会は、議会運営に関する事項、議会の
会議規則、委員会に関する条例等に関する事
項、議長の諮問に関する事項について、閉会中
も引き続き調査することとし、継続調査を申し
出たいと思いますが、これに御異議ありません
か。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○**委員長（福嶋安徳君）** 御異議なしと認め、
そのように決しました。

◎その他

次に、3. その他の（1）議員派遣の件につ
いて、説明を求めます。

○**議会事務局長（宮田 径君）** （1）議員派
遣の件につきまして御説明いたします。

本日の議事日程のほうで、日程第48に議員
派遣の件とございます。内容につきましては、
1つに議員研修に伴う議員派遣、それと2つ目
に、海外視察に伴う議員派遣の2件でございま
す。

この件につきましては、地方自治法及び会議
規則並びに八代市議会議員海外行政視察派遣研
修取扱要領及びその運用に基づき、本日、本会
議で御決定をいただくこととしております。

なお、別紙に議員派遣についてという関係資
料をお配りいたしておりますので、御参照くだ
さい。

以上でございます。

○**委員長（福嶋安徳君）** ただいま説明が終わ

りましたが、何か質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) なければ、ほかに何かありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) ほかになければ、以上で議会運営委員会を閉会いたします。

(午前9時31分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和元年12月20日

議会運営委員会

委員長